

[参考資料]

令和 7 年 酒田市総合計画【後期計画】 に関するアンケート調査

《自由意見の概要》

自由意見の概要の見方と注意点

- ・331名からあった意見、提案、要望等について、AIを用いて頻出する内容を7つの項目に分類し、年代別でまとめた。
- ・主な意見の記載内容は、AIによる分析時に抽出されたキーワードのため、実際の自由意見の記載内容とは一致しない。

年代	項目	主な意見
10代 20代	1 交通・インフラ・都市整備	東京や大阪、福岡へのアクセス改善
		新幹線の導入・飛行機の増便
		Suica・チェリカの導入などキャッシュレス対応
		大学生の移動手段の選択肢拡大(るるんバスの路線拡充)
		一律料金制などの継続
		複数の市民から「道路の穴を埋めてほしい」という意見
		体育館が1つしかないことへの不満。鶴岡市との比較から、スポーツ施設の拡充を求める声
		釣り場としての整備など、観光・地元還元型の整備提案
	2 子育て・教育・若者・福祉支援	子どもが遊べる施設の不足(例:東根タントクルセンターのような施設の要望)
		戸建て補助金、産後ケアへの評価とさらなる充実の要望
		今住んでいる若者が定住したくなる支援がない
		若年層の生活・就労環境整備が後回しにされている
	3 行政・制度・広報への不信と改善要望	特定のケースに対する怒り・不満が強く、制度運用の透明化や監査強化を求める意見
	4 中心市街地の再生・観光振興	ー
	5 雇用・経済・産業振興	PARCOやデパコスを扱う店舗など、都市型施設の誘致
		いろは蔵パーク:無印・カルディなどの誘致は便利
		いろは蔵パーク:「無駄な出費」「誰のための施設か不明」「地元民に不要」
	6 環境・エネルギー・騒音・空き家	地方条例による明文化など、具体的な対処
		豪雨災害後の対応が不十分、住民の声を防災計画に反映すべき
	7 地域コミュニティ・文化・イベント	ー

年代	項目	主な意見
30代	1 交通・インフラ・都市整備	公園トイレや遊具の老朽化と不衛生問題
		除雪対応の不満、積雪期の道路管理や融雪剤の不平等
	2 子育て・教育・若者・福祉支援	室内・全天候型の遊び場や大型公園の不足
		保育園や学童の待機児童、希望園に入れない問題
		不妊治療支援の拡充希望
		教育・学費の無償化や給食費助成の要望
		保健師の対応や支援の質への不満
		子ども向けの文化・教育体験(自然、知育)施設の不足
		地域ぐるみでの子育ての仕組みづくりが必要
		病院の減少、特に婦人科やがん検診受診の困難さ
		独身・子なし世帯への支援が皆無
		若年層の雇用や住まい、趣味娯楽の選択肢が少なく、流出に拍車
		女性の雇用機会・待遇格差、シングルマザーの支援不足
		移住者との交流の場がない、地域との接点を作れない
		高齢者の免許返納後の移動手段の確保(タクシー券や乗合アプリなど)
	3 行政・制度・広報への不信と改善要望	市のHPが見づらい、必要情報にたどりつけない
		LINE公式の画像が見づらい
		市の施策が市民に伝わっていない
		市役所内のたらい回し、対応にムラがある
	4 中心市街地の再生・観光振興	駅前・中町の閑散化、商業施設・娯楽施設の不足
		「どんしゃん祭り」やフリーマーケットの復活希望
		若者・家族連れが楽しめる体験型イベントが少ない
		「フェリー」「映画館」「民族衣装の店」「奇抜なアート」など独自性の提案
	5 雇用・経済・産業振興	若者・女性にとって魅力のある就職先がない
		中小企業の低賃金問題
		クリエイター・フリーランスなど新しい働き方の支援なし
		男女間賃金格差や採用時の性差別
	6 環境・エネルギー・騒音・空き家	空き店舗・空き家(旧プラスワン跡地など)の有効活用
	7 地域コミュニティ・文化・イベント	地域活動が形骸化しており、若者が関われない・入りづらい
		地域活動への強制参加や役職の押し付け(健康上の理由でも断れない)
		若い世代の事情(仕事・育児)に無理解

年代	項目	主な意見
40代	1 交通・インフラ・都市整備	公共交通機関の拡充(特に郊外・八幡地域)
		高校・部活動への通学・送迎の負担軽減
		スクールバスの導入希望
		バス本数・デマンドタクシーの充実
		高齢者の移動支援(タクシー券など)
		除雪対応・道路補修の改善
		スポーツ施設の管理改善と開放
		冠水・側溝の老朽化と水道料金の高さ
	2 子育て・教育・若者・福祉支援	若者が市外へ流出してしまう現状への危機感
		若者が「住みたい」と思えるまちづくり(雇用、娯楽、交通)
		制服廃止・リユース制度の導入、学用品費の負担軽減
		子どもの遊び場不足(特に冬季対応の室内施設)
		子育て家庭への支援充実(学童給食、預かり制度、リモート勤務推進など)
		5歳児健診、視力検査の追加
		学校教育・進学校の柔軟化(自由度の向上)
		精神疾患への対応・支援不足
		障がい者支援や福祉制度の公平性
	3 行政・制度・広報への不信と改善要望	アンケートに対する疑問
		アンケート設計の使いづらさ(スマホのみ、入力方法など)
		税金の使い道に対する疑問・不満
		広報・市政情報が届いていない
		窓口対応の不備、支援制度の周知不足
		財政の硬直化への懸念、支出の見直し
	4 中心市街地の再生・観光振興	中町・清水屋跡地などの再開発
		魅力的な店舗(若者向け、家族向け)の誘致
		駅前や港周辺の景観改善・活用
		子どもも楽しめる商業施設・イベントの創出
	5 雇用・経済・産業振興	地元就職を増やす仕組みの整備
		若者や女性、障がい者の働く場の創出
		農林水産業の担い手支援と魅力発信
		企業誘致、インフラ整備による雇用創出
	6 環境・エネルギー・騒音・空き家	海岸の景観・防災フェンスの改善
		松食い虫や倒木被害、伐採費用の負担軽減
		地震・豪雨時の避難情報不足への不安
		洋上風力発電への強い反対(漁業・環境破壊の懸念)
		空き家対策の加速(補助、活用、撤去)
	7 地域コミュニティ・文化・イベント	—

年代	項目	主な意見
50代	1 交通・インフラ・都市整備	公共交通(バス、るんるんバス、デマンドタクシー)の本数不足、利用の難しさ
		高齢者・学生・免許返納者の移動が困難
		郊外・旧町村部での買い物・通院の困難さ
	2 子育て・教育・若者・福祉支援	子育て支援・教育支援(特に小規模校の負担・支援員配置等)
		母子家庭や高齢者への配慮(医療証への配慮等)
		放課後の居場所や部活の地域移行、支援体制の構築
	3 行政・制度・広報への不信と改善要望	イベントを知らなかった、市の取り組みが伝わってこない
		若者や転入者向けの情報提供が不十分
		SNS活用・PRの弱さ
	4 中心市街地の再生・観光振興	駅前・中町商店街の衰退、シャッター街化
		「クルーズ船が来ても何もない」との失望の声
		酒田の「食」や「歴史文化」をもっと観光資源化すべき
		観光と市民生活の共存(市民が店に入れない等)
	5 雇用・経済・産業振興	若者向けの商業施設・娯楽施設不足(例:ラウンドワン、コストコ希望)
		若者の地元定着に向けた雇用創出、企業誘致が不足
	6 環境・エネルギー・騒音・空き家	洋上風力発電に対する懸念(低周波音、将来への負担、事故)
		エネルギー都市としての強化
	7 地域コミュニティ・文化・イベント	郊外地域が「切り離された」感覚(除雪、買い物、病院、交通なし)
		地域によって生活環境の格差が大きい
		空き家の増加・放置

年代	項目	主な意見
60代	1 交通・インフラ・都市整備	車が使えない高齢者の交通手段がない
		融雪溝が欲しい
	2 子育て・教育・若者・福祉支援	若者が戻ってこない
		若い女性が住みやすい町に
		公益大の公立化を歓迎し、若者流出を防ぎたいという声
		かかりつけ医の廃業で困っている
		認知症介護の負担が重い
		不妊治療に時間的制約がある
		子ども連れで遊べる施設がない
		子育て支援施設の規模が足りない
		遊び場を無料で
	3 行政・制度・広報への不信と改善要望	行政が市民目線ではない
		防災放送が聞き取れない
		仕事していない職員がいる
		市の発展を願っている
		職員の皆さんに期待
		広報が月1回では足りない
		情報の届き方に偏りがある
		市の制度を後で知ることが多い
		わかりにくいアンケートが多い
		全てにおいて鶴岡に負けている
		物産館・アリーナの整備を
	4 中心市街地の再生・観光振興	中町がシャッター街
		駅前にカフェがない
		いろは蔵は良いがテナント選定が不適切
		鶴岡の方が魅力的
		近隣住民へのヒアリングを
		観光PRが弱い
		松尾芭蕉の景観を壊してはならない
		クルーズ船は良いが中町が寂しい
		イベント時だけの賑わいに終わらせるな
	5 雇用・経済・産業振興	－
	6 環境・エネルギー・騒音・空き家	放棄された空き家の管理が不明
		ネズミや放火の心配
		空き家解体の補助
	7 地域コミュニティ・文化・イベント	－

年代	項目	主な意見
70代 80代	1 交通・インフラ・都市整備	車を手放した後の生活に不安
		巡回車、小型モビリティの導入要望
	2 子育て・教育・若者・福祉支援	若者の地元定着を促す施策が不足
		子育て支援、病時保育、夜間保育の整備が必要
		共働き世帯への配慮が欠けている
		若者向けの就労環境がない
		地域包括支援センター等の現場の課題
		障がい者福祉に関する信頼関係構築の要望
	3 行政・制度・広報への不信と改善要望	アンケートだけで終わるのでは意味がない
		市議会や行政が何をやっているかわからない
		市民の声をもっと反映してほしい
		一部の人がだけ恩恵を受けている印象
		財政が厳しいと言いながら職員待遇に手を付けない姿勢への批判
		鶴岡市や他市に比べ、酒田は魅力発信が弱い
	4 中心市街地の再生・観光振興	本町・中町など旧市街地の空洞化
		清水屋・ト一屋跡地などの再開発を早急に
		コンビニ、カフェ、気軽な立ち寄り場所の不足
		歩いて楽しめる街の形成、市場やイベント空間を
		鳥海山、港、山居倉庫など活かしきれていない
		大型観光客への対応が不十分(お土産店、温泉施設等)
		夜の酒田は死んでいる
		津波・災害時の避難体制への不安
		公園、神社などの整備不十分
	5 雇用・経済・産業振興	大企業の誘致による人口増を
		公益大学に対する抜本的見直し提案(医療系、セキュリティ系など)
		就職先の魅力がなければUターンは難しい
	6 環境・エネルギー・騒音・空き家	空き家・空き地の増加への危機感
		廃校・公共施設の有効活用
	7 地域コミュニティ・文化・イベント	祭りやイベントが一部の形式的なものになっている
		酒田まつりや花火大会への期待と不満
		若者から高齢者までが楽しめる文化・芸能イベントを
		クラフト市、フリマ、スケート場の要望など